



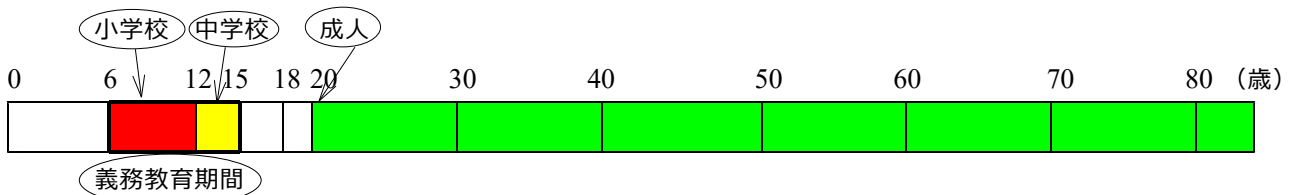
# 自立的に生きるには



岩内西小学校長 佐古岡 香

暦の上では立春、雨水が過ぎましたが、本格的な春の訪れはまだ遠く、三寒四温の日々が続いています。学校では今月24日から3日間、今年度初の参観日を実施しました。感染症対策として特別教室での授業参観・学級懇談といたしましたが、多くの保護者の方に来校していただき大変ありがたく思いました。何より子どもたちがうれしそうで、いつも以上の集中力や意欲的な姿勢を見せてくれました。

昨年7月末、厚生労働省が日本人の平均寿命を発表しました。日本が長寿国となって久しく、年々平均寿命が伸びています。2019年の日本人の平均寿命は女性87.45歳（世界第2位）、男性81.41歳（世界第3位）だそうです。成人（20歳）してからの人生が非常に長いことが下の図からもお分かりいただけると思います。



義務教育の目的の一つは、「個人の能力を伸ばしつつ自立的に生きる基礎と培うこと」です。辞書によると、「自立」とは「他の助けや支配なしに自分ひとりの力で物事を行うこと」と記されています。実際のところ、自分一人で生きていくというより、助けを借りたり支え合ったりして生きていることが珍しくありません。例えば、身体にハンディキャップのある人が、ヘルパーなどの福祉の力を借りて一人暮らしをすることも「自立」と考えると、自分一人の力で行うことだけを自立というのではなく、「依存・孤立することなく、自己実現する力を持っていること」のような気がします。

子ども時代はそう長くありません。あっという間に自立して生きるときがやってきます。そのときのために、「ほどよく誰かや何かとつながり、自分で考え判断し行動する力」をばぐくんでいかなければなりません。学校は、子ども自身が「自分で考える」ことを大切にしていますが、あらゆる学習活動でより一層意識して取り組んでいきたいと考えています。

今年度も残り一か月。6年生は卒業のカウントダウンが始まっています。子どもたちが最後まで元気に登校できるよう、保護者、地域の皆様に見守っていただけたら幸いです。



